

佐久間町

地形概況

天竜川、支流の水窪川・相川・大千瀬川などの流域山地が広く、流路には曲流と峡谷を形成する。中部や浦川は盆地状に開けて段丘もみられるが、平坦地は山麓堆積地に多い。北東から南西に中央構造線が走り、斜面崩壊や地すべり地も多い。

地質概況

中央構造線を境に東側には三波川帯の黒色片岩・緑色片岩が南北方向に配列し、光明層群の砂岩層が竜頭山の山稜を形成する。佐久間ダム周辺は領家変成帯の花崗岩・ホルンフェルス・ミロナイトなどからなる。破砕帯が分布するため山地崩壊も多い。

気象概況

年平均気温は 14.1℃(佐久間)は県内でも低く、夏と冬との温度差が 23℃以上ある。日照時間の 1,913 時間は県内で最短で山地地形による影響である。年平均降水量は 2,397mm(同上)と県平均であり、4 月から 8 月にかけて半分に達する。

災害事例 地震

- 1944 年 12 月 7 日（昭和 19 年）東南海地震 M=7.9
県中・西部の被害が大きかったが、当地では被害状況の記録はない。墓石の転倒もなく、浮石の転落が若干あった程度。
- 1854 年 12 月 23 日（安政元年）安政東海地震 M=8.4
全県下に被害を及ぼした大地震であるが、当地では奥領家・地頭方・戸口で震度 5 程度であった。

災害事例 台風

- 1995 年 9 月 17 日（平成 7 年）台風 12 号
戦後最大級の台風 12 号が県内全域に激しい風雨をもたらした。網代では瞬間最大風速 40.7m を記録している。佐久間町内の県道で土砂崩れがあり、通行中の乗用車が巻き込まれる被害が出た。死者 1 名、重傷 1 名の被害。
- 1979 年 10 月 19 日（昭和 54 年）台風 20 号
全県下で被害を生じた。佐久間町での時間雨量は 11 時 51mm、12 時 53mm であった。当地では全壊 1 戸、床下浸水 10 戸、道路決壊 14 箇所、堤防 3 箇所、崖崩 3 箇所の被害を受けた。
- 1958 年 8 月 25 日（昭和 33 年）台風 17 号
県の中・西部で被害があったが、当地では家屋全半壊 57 戸、浸水家屋 190 戸、道路決壊 18 箇所、その他、橋梁流失・堤防決壊・耕地冠水などの被害があった。
- 1954 年 9 月 18 日（昭和 29 年）
全県下特に中・西部に風水害あり、当地では死者 5 人、全壊家屋 2 戸の被害を出した。
- 1911 年 8 月 4 日（明治 44 年）

佐久間町山香での日雨量は、3 日 114mm、4 日 444mm に達した。竜山村では家屋 30 戸余、転落埋没している。

災害事例 旱魃

- 1965 (昭和 40 年)

全般に降水量は平年の 2 分の 1 で、県下は旱魃となった。当地で 8 月の雨日数 3 日のみで、平年より 11.8 日も少なかった。